

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	いわさき・こどもデイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年1月20日		2025年2月7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2025年1月20日		2025年1月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数) 9名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月4日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	10人のお子さんに対して、保育士等の有資格職員を多く配置し手厚い支援体制と、保護者がいつでも相談できる体制を整えている。	保護者の方にご協力いただき、毎日、送迎を行ってもらっている。そのことで保護者とコミュニケーションをとる機会が増え、困りごとや課題の早期発見や解決につながられている。	今後も保護者送迎を基本とする支援体制を整えていきたい。
2	こどもたちにわかりやすい環境を整えている。	職員が法人の支援方針を理解し、小集団の中でも個別支援に注目して環境を整えるように努めている。 お子さんの発達段階や成長、進路等に合わせて細やかに目標や環境を変更、工夫している。 また、そのことは保護者とも常に共有し自宅での生活にも取り入れてもらっている。	発達支援の現場だけでなく、家庭での生活がスムーズになるよう、今後も保護者とのコミュニケーションを密にしながら継続して取り組みたい。
3	フォローアップ体制の充実させている。	卒園後のフォローアップのための保育所等訪問支援だけでなく、利用中にできた横のつながりを維持できるよう卒園児向けのイベントを開催している。 また、卒園後も家庭での生活が安定するよう、同一法人内で実施する日中一時支援サービス等の情報提供を行っている。	現状の体制を維持しつつ、卒園後も保護者が相談しやすい環境をさらに充実させていきたい。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門職(作業療法士、理学療法士、公認心理師等)の配置が不足している。	言語聴覚士による専門的支援は実施できているが、他の専門職の配置はできていない。	障害児等療育支援事業を活用し、まずは外部講師による職員研修を実施したり、自立支援協議会こども専門部会が主催する専門職講座等でスタッフのスキルアップを目指したい。
2	体を十分に動かす屋外遊技場の不足。	併設する入所施設のグラウンド等を活用しているものの、遊具等が十分ではない。	安全に配慮しつつ、近隣の公園等の活用も考えていきたい。
3			